

令和6年度  
研究集録

# 令和の日本型学校教育の 土台となる幼児教育の推進

全国国公立幼稚園・こども園長会



## はじめに

全国国公立幼稚園・こども園長会  
会長 高橋 慶子

本書は、全国の国公立幼稚園・こども園が実践してきた教育活動の成果をまとめた研究集録です。それぞれの園が地域の特色や資源を生かし、幼児一人一人の成長を支えるために試行錯誤しながら積み重ねてきた取り組みが紹介されています。これらの実践は、保育の現場で得られた貴重な知見の結晶であり、全国の教育現場において日々の保育を見直すための指針となることでしょう。

国公立幼稚園・こども園は、公教育機関としての責務を果たすとともに、地域社会と連携しながら幼児教育の発展に寄与しています。令和6年10月に文部科学省より発表された「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会最終報告」で国公立幼稚園の成果と今後の役割が明確に示されました。また12月末には幼稚園教育要領改訂に向けた諮問、審議が始まるなど、国の教育施策が急速に進んでいます。こうした中で、園長は時代の変化を敏感に捉えながら、自ら学び続け、地域を超えた連携を深めることが求められています。

今年度の研究テーマ「令和の日本型学校教育の土台となる幼児教育の推進」に基づき、全国七つのブロックから多様な研究が寄せられました。これらの研究に共通するのは、幼児一人一人の可能性に向き合う保育者の真摯な姿勢と、保育者同士が互いに高め合う学びの姿勢です。また、地域資源の活用や専門家との連携を通じ、保育の質をさらに高める努力が多く示唆を与えてくれます。国公幼は全国規模のネットワークを生かし、研究成果を共有し、学び合える場を提供することで、国公立園の資質向上を目指しています。この研究集録が、全国の幼稚園およびこども園の教育活動に役立つとともに、自治体や幼児教育関係者、そして広く関係者の皆様にご活用いただけることを願っています。

最後になりますが、貴重な実践を提供して下さった全国の園長先生方をはじめ、研究に携わった全ての教職員の皆様にご心より感謝申し上げます。この研究集録が、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支える一助となることを祈念いたします。